

伊能嘉矩 ～台湾研究と郷土研究の生涯～

伊能嘉矩は、慶応3年(1867)に現在の遠野市東館町で生まれました。明治26年(1893)に東京人類学会に入会し、坪井正五郎のもとで人類学を学びました。翌年には『東京人類学雑誌』に「奥州地方に於いて尊信せらるるオシラ神に就きて」を発表、日本で初めてオシラサマを学会に紹介しました。

明治28年(1895)に台湾に渡航し、10年間にわたり台湾原住民の調査・研究を行いました。帰郷後は、台湾研究を進めながら、柳田國男、佐々木喜善、ネフスキーら民俗学者と交流し、『遠野物語』の成立にも影響を与えました。台湾研究の集大成である『台湾文化志』は、現在も国際的に高く評価されています。

本展では、伊能嘉矩の台湾研究の資料、柳田國男との交流や郷土研究に関する資料を中心に展示します。



台湾にて



アタイヤル族(「伊能嘉矩写真帳」より)
伊能家 蔵



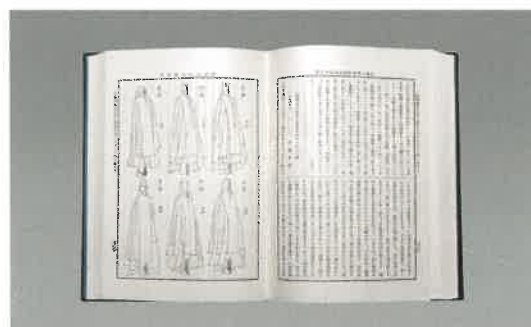
柳田から伊能に贈られた『遠野物語』 館 蔵



『台湾文化志』 館 蔵



「猿ヶ石川流域における不地震地」原稿 伊能家 蔵



『東京人類学雑誌』第9巻第98号(昭和56年復刻)
伊能嘉矩著「奥州地方に於いて尊信せらるるオシラ神に就きて」明治27年5月掲載 館 蔵



パイワン族彫刻絵図 伊能家 蔵



イナウ
アイヌの木弊
碧祥寺博物館 蔵



特別展記念イベント

特別展「伊能嘉矩～台湾研究と郷土研究の生涯～」 ギャラリートーク(30分間)

特別展の見どころを学芸員が解説します。日時/7月25日(金)、8月8日(金) 13時30分～14時

遠野市立博物館
TONO MUNICIPAL MUSEUM
〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号
TEL 0198-62-2340 FAX 0198-62-5758